

## 新潟青陵大学 中期目標・計画（2021年度～2027年度）

### （1）中期目標の Vision

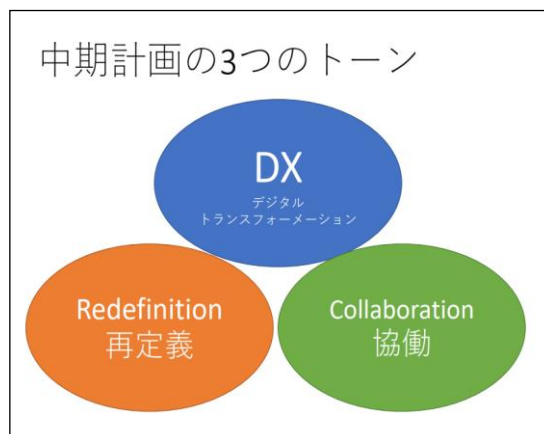
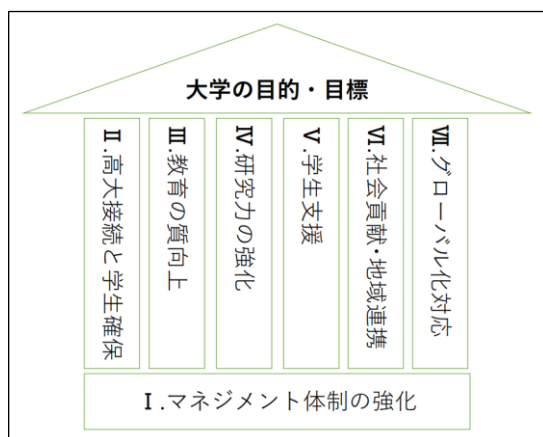
ポストコロナ時代に向けて、大学の意義と役割の再定義を行い、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進させ、学内外の多様な資源を有効に活用した連携と協働の道を探り、Society 5.0 における知の拠点となることを目指す。

### （2）求められる中期計画立案特性

中期計画立案においては、IR 機能の強化を図り「的確なデータ収集・分析に基づいた現状把握」を行い、慣習や過去の成功例に固執しない「臨機応変な意思決定」を目指し、単一の正解のない問題へ対処するために「多様性・曖昧性の許容」と「不安定・不確実性への耐性」を持った計画にすることを心がける。

### （3）中期目標の7つの柱と中期計画3つのトーン

目標を以下の7つの柱に分けて整理し、計画を立て、進捗状況を確認し修正を加えながら計画を実行し、目標の達成に近づける。計画を立てる際には、DX（デジタルトランスフォーメーション）、Redefinition（再定義）、Collaboration（協働）の3つをトーンとして意識して立案する。



#### I. 持続可能な大学経営とマネジメント体制の強化

大学の意義・役割の再定義と内部質保証・危機管理体制のさらなる向上

#### II. 高大接続と学生確保

育てる入試と教育の連続性の重視

#### III. 教育の質向上

学習成果の可視化と自己教育力の養成

#### IV. 研究力の強化

研究の見える化（計画と進捗・成果の公開）

## V. 学生支援

学生の声を聴きながら社会性と自主性を伸ばす学生支援

## VI. 社会貢献・地域連携（地域社会とのつながり）

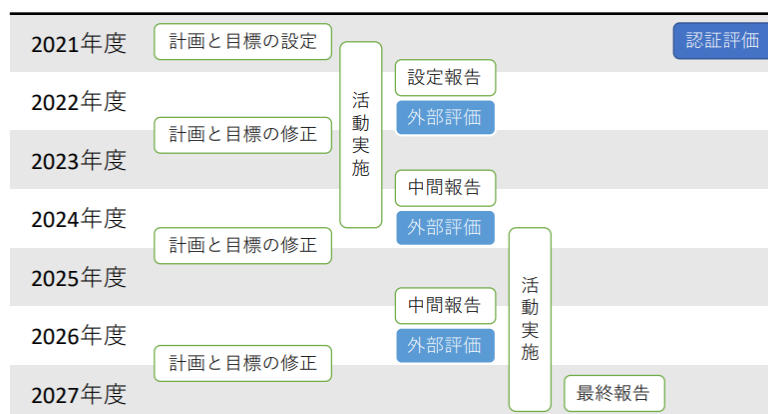
知の拠点としてステークホルダー（地方自治体、病院、施設、企業等、大学の活動に関わる組織や地域住民、卒業生、在学生、教職員）との関係性強化

## VII. グローバル化対応（世界とのつながり）

体験を通じた異文化理解

### （4）中期目標・中期計画のフェーズ

2021年度は認証評価を受ける年にあたる。先の中期目標（2014年度～2020年度）の総括を行い、新しい中期目標をどのような Vision のもとに立てるかを決め、認証評価結果を踏まえて、中期計画を立案する。計画の進捗状況を確認し、2022年度から常設する外部評価委員会からの評価も参考にしながら、改善点を見つけて、計画を修正しながら進める。



2022年度については、大学基準協会から示される認証評価結果を踏まえて、2022年度に各部署が、PDCA サイクルシートを用いて立てる事業計画を基礎資料に、7つの柱ごとに、具体的にどのような計画があるかを整理し、どこを補強すべきか優先順位を考えながら検討を加える。

### （5）中期目標の7つの柱ごとの課題

各部署がこの中期目標のもと、どのような活動計画を立てるか検討する際に、どのような課題が関連してくるかについて、次のように整理した。

#### I マネジメント体制の強化：大学の意義・役割の再定義と内部質保証・危機管理体制のさらなる向上

- 経営方針の明確化
  - 理事会機能の強化
  - 効果的な予算編成：予算編成会議の実施
  - アセスメント・ポリシーの確立
  - 将来計画の明示
- 大学経営戦略の明確化
  - IR 推進室の機能強化：IR 担当職員の配置

- 内部質保証マネジメントの改善・強化
- 情報公開の促進: : ホームページの更新と点検
- 組織・人員配置の効率化
  - 各組織・委員会の構成員の整理・見直し
  - 役職ごとの権限と職務内容の整理・見直し
- 危機管理
  - 危機管理体制の改善
  - セーフティ・マネジメントの確立

## II 高大接続と学生確保：育てる入試と教育の連続性の重視

- 教育の連続性と高大連携
  - アドミッション・ポリシーに即した入試の継続・改善
  - 入学前教育と初年次教育プログラムの連動・充実
  - 高校との連携強化
- 入学試験の適正な実施
  - 入試制度改定への対応
  - 適正な入試問題作成・採点
  - 適正な合否判定:学園内入試情報の共有の拡充
  - 入試区分毎の入学定員の改善:入試区分毎の入学後学習状況の追跡調査
- 学生募集・広報
  - 受験者動向と学校側の指導方針の把握:マーケティングリサーチの拡充
  - 広報内容の充実・強化:教員の得意分野、学科の PR ポイントなどが反映
  - 多様な学生の受け入れ

## III 教育の質向上：学習成果の可視化と自己教育力の養成

- 教育内容の改善
  - ディプロマ・ポリシーに基づく教育内容の点検・改善
  - きめ細かい履修指導：履修系統図、ナンバリングを活用
  - Society 5.0 におけるリテラシー教育の検討・導入：数理・データサイエンス・AI の基礎
  - リカレント教育の充実
- 教育方法の改善 (FD)
  - シラバスの記載の充実と点検：カリキュラム編成方針に基づく授業計画作成
  - アクティブ・ラーニングの充実：ICT 活用教育の推進、授業見学や研究授業の設定
  - ピア評価による改善：授業見学の実施拡充
  - 学生の代表者や学外者を加えた FD
  - アセスメント・ポリシーに基づく成績評価の実施・点検

## IV 研究力の強化：研究の見える化

- 研究資金獲得力の強化
  - 科研費等への応募・採用件数増加:研究支援トータルパッケージ「RETOP」の活用促進
  - 共同研究の活性化：研究のシーズとなる共同研究費補助金の設定
  - 学内や地域における学術活動活性化：学内や地域における学術集会・講演会開催に対する補助金の設定
- 教育・研究成果の公開
  - 学術集会、学術誌への教育・研究成果の公開：リサーチマップの定期的更新・点検、機関リポジトリの定期的更新・点検

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育研究活動サポート体制の拡充：教員のための事務手続・学内資源利用マニュアル作成</li> <li>● 研究者の資質向上（FD） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員評価システムの体系化：研究成果・研究計画概要作成と点検評価、教育・研究・社会貢献・管理活動における優れた教員への表彰制度の検討</li> <li>○ FD 研修機会の提供と義務化：FD 研修会の充実</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>V 学生支援：学生の声을聴きながら社会性と自主性を伸ばす学生支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 修学支援： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様性への対応</li> <li>○ 学習支援体制の整備</li> <li>○ 実習支援体制の整備</li> </ul> </li> <li>● 生活支援（充実した学生生活の確保） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課外活動の活性化</li> <li>○ 学生満足度調査に基づく、課外活動用施設・環境の改善充実</li> <li>○ アドバイサーの役割（対学生、対保護者）の再確認と質向上</li> <li>○ 学生の健康支援・啓蒙活動</li> </ul> </li> <li>● 就業力育成と進路支援（社会人基礎力の向上支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と協働する人材育成推進</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>VI 社会貢献・地域連携：知の拠点としてステークホルダーとの関係性強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公開講座の強化・推進</li> <li>○ リカレント教育の提供</li> <li>○ 大学施設（図書館等）の市民・地域への開放促進</li> </ul> </li> <li>● 地域連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟市との包括連携協定に基づく地域連携の促進</li> <li>○ 阿賀町との包括連携協定に基づく地域連携の促進</li> <li>○ 西堀ローサに連携大学と共同設置している「ジョイント・ベース」の活用</li> <li>○ SKY プロジェクトの具体化</li> <li>○ 新潟都市圏大学連合の事業継続</li> <li>○ 新潟市委託事業の継続</li> <li>○ 新潟県委託事業の継続</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>VII グローバル化対応：体験を通じた異文化理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外研究者・学生との交流推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学間協定を締結した海外の拠点大学との国際学術交流促進</li> <li>○ 新たな海外交流教育機関の開拓</li> </ul> </li> <li>● 国際理解の教育・研究の強化・推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国語教育の充実</li> <li>○ 海外での技術研修、ボランティア活動の拡充</li> <li>○ 学生の留学支援プログラムの設置・促進</li> <li>○ 留学生受け入れの検討</li> </ul> </li> </ul>